本資料のうち,枠囲みの内容は,営業秘密又は防護上の観点から 公開できません

東海第二発電所	工事計画審査資料
資料番号	工認-558 改5
提出年月日	平成 30 年 9 月 28 日

日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 放射性廃棄物の廃棄施設 気体,液体又は固体廃棄物処理設備 液体廃棄物処理系 (機器ドレン処理系)

(添付書類)

V-1 説明書

V-1-1 各発電用原子炉施設に共通の説明書

V-1-1-4 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書

V-1-1-4-5 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書(放射性廃棄物の廃棄施設)

V-1-1-4-5-1 設定根拠に関する説明書(機器ドレン処理系 格納容器機器ドレンサンプ)

V-1-1-4-5-2 設定根拠に関する説明書(機器ドレン処理系 主配管)

V-6 図面

- 6 放射性廃棄物の廃棄施設
 - 6.1 気体,液体又は固体廃棄物処理設備
 - ・放射性廃棄物の廃棄施設 気体,液体又は固体廃棄物処理設備に係る機器の配置を明示した図面

【第6-1-1図】

- 6.1.1 液体廃棄物処理系
- ・放射性廃棄物の廃棄施設 気体,液体又は固体廃棄物処理設備(液体廃棄物処理系 床ドレン処理系/機器ドレン処理系)に係る主配管の配置を明示した図面

【第6-1-1-1図】

・放射性廃棄物の廃棄施設 気体,液体又は固体廃棄物処理設備(液体廃棄物処理系 機器 ドレン処理系)(耐震Bクラス申請範囲)に係る主配管の配置を明示した図面

【第 6-1-1-3 図】

・放射性廃棄物の廃棄施設 気体,液体又は固体廃棄物処理設備(液体廃棄物処理系 床ドレン処理系/機器ドレン処理系)の系統図(設計基準対象施設)

【第6-1-1-6図】

・放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体,液体又は固体廃棄物処理設備(液体廃棄物処理系 機器ドレン処理系)(耐震Bクラス申請範囲)の系統図(1/2)(変更前)(設計基準対象施設)

【第6-1-1-7図】

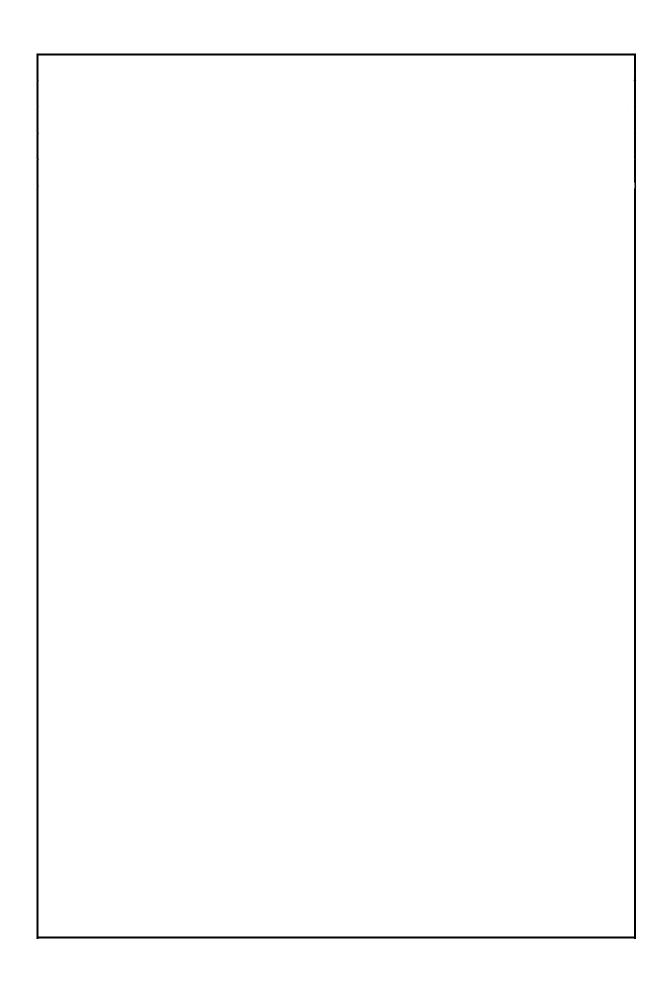
・放射性廃棄物の廃棄施設 気体,液体又は固体廃棄物処理設備(液体廃棄物処理系 機器 ドレン処理系)(耐震Bクラス申請範囲)の系統図(1/2)(変更後)(設計基準対象施設)

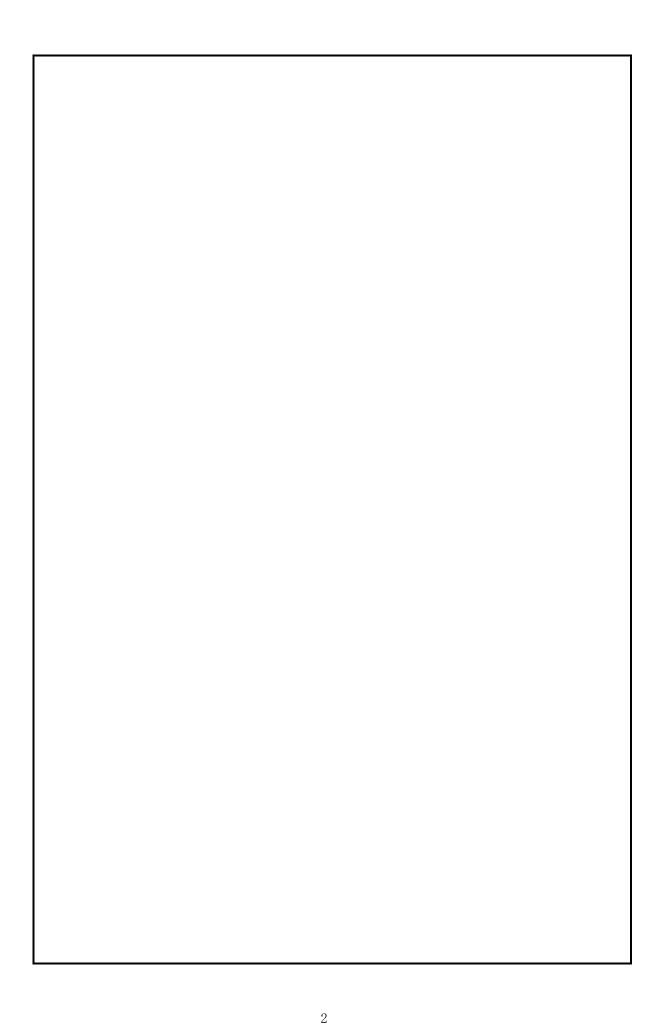
【第6-1-1-8図】

・放射性廃棄物の廃棄施設 気体,液体又は固体廃棄物処理設備(液体廃棄物処理系 機器 ドレン処理系)の構造図 格納容器機器ドレンサンプ

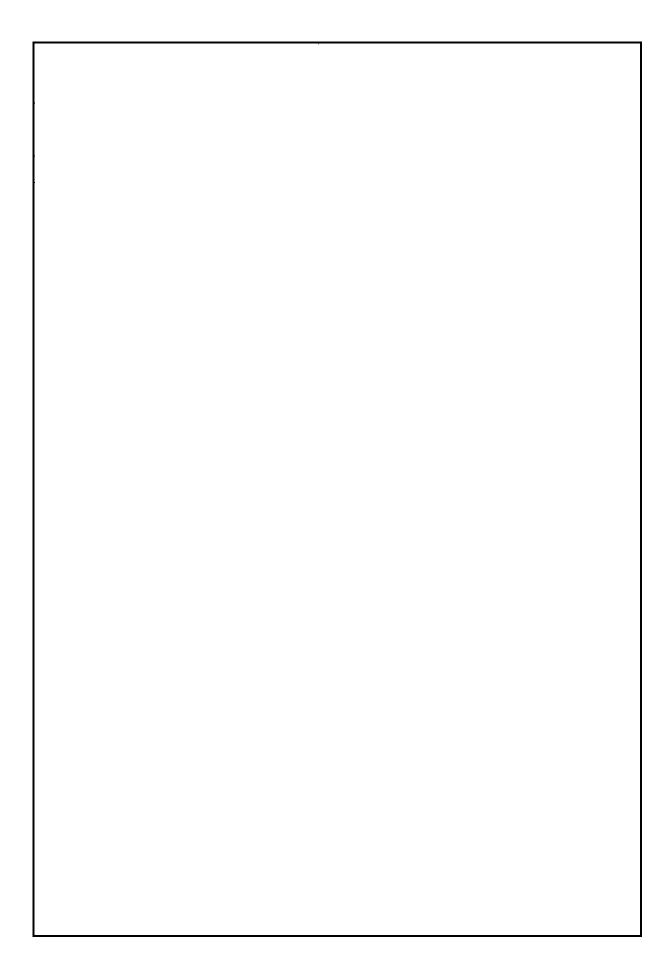
【第6-1-1-15図】

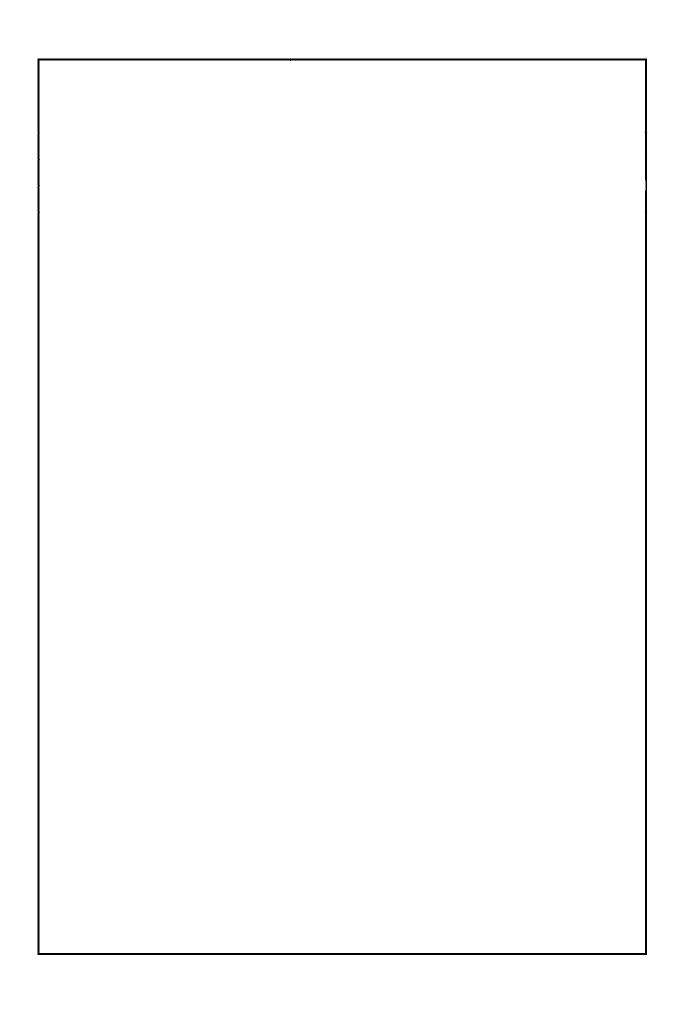
V-1-1-4-5-1 設定根拠に関する説明書 (機器ドレン処理系 格納容器機器ドレンサンプ)

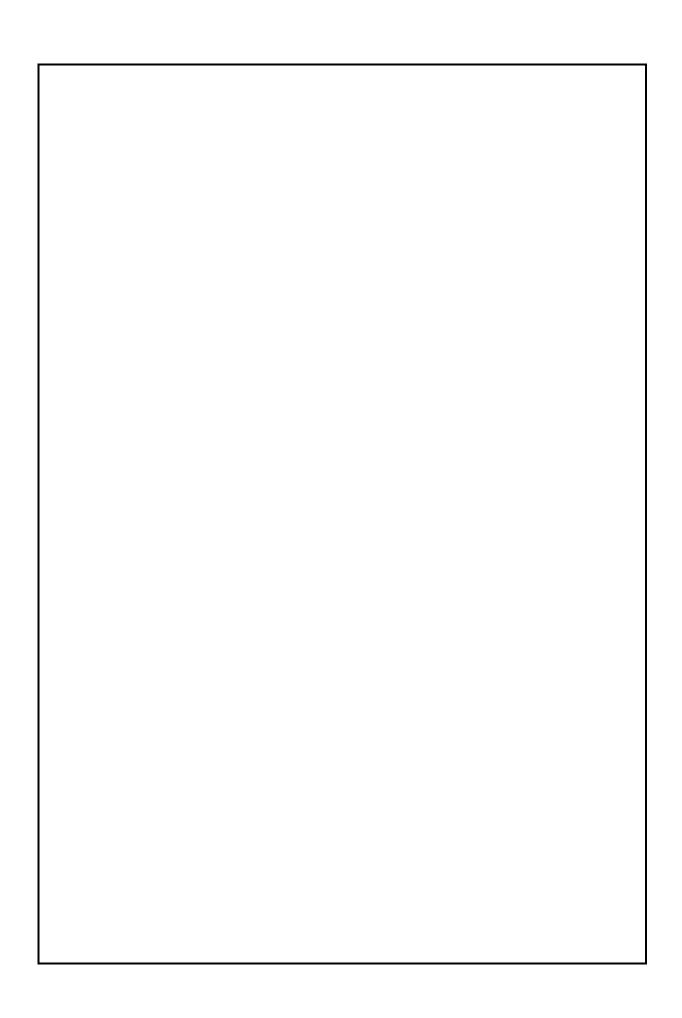




V-1-1-4-5-2 設定根拠に関する説明書 (機器ドレン処理系 主配管)



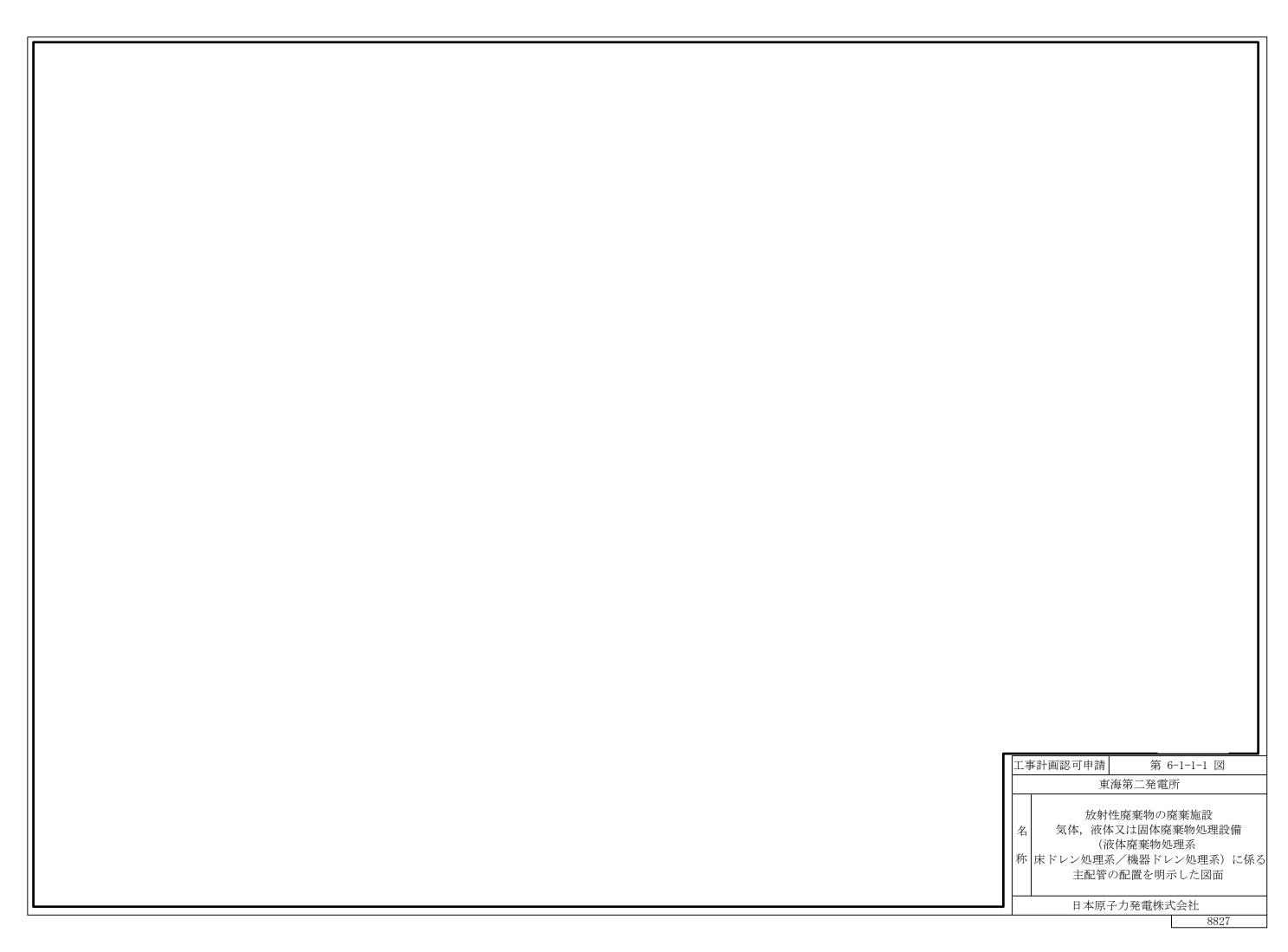




[1]

[1]
[1]
[1]
[1]

[1]
[1]
[]
[1]
[1]
[1]
[1]
[1]
[1]
工事計画認可申請 第 6-1-1 図
東海第二発電所
名 放射性廃棄物の廃棄施設
気体、液体又は固体廃棄物処理設備 称 に係る機器の配置を明示した図面
日本原子力発電株式会社



第 6-1-1-1 図 放射性廃棄物の廃棄施設 気体,液体又は固体廃棄物処理設備(液体廃棄物処理系 床 ドレン処理系/機器ドレン処理系)に係る主配管の配置を明示した図面 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

管 NO.1*

主要寸泡 (mm)	±	許容範囲	根拠
外径	89. 1	±1%	JIS G 3456による材料公差
厚さ	7. 6	-12.5%	【プラス側公差】製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準【マイナス側公差】JIS G 3456による材料公差

管 NO.1*- 管継手

主要寸泡 (mm)	Ė	許容範囲	根拠
外径	89. 1	±1.6mm	JIS B 2312による材料公差
厚さ	7.6	+規定しない -12.5%	同上

管 NO. 2*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	89. 1	±1%	JIS G 3456による材料公差
厚さ	5. 5	-12.5%	【プラス側公差】製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準【マイナス側公差】JIS G 3456による材料公差

工事計画記載の公称値の許容範囲 (続き)

管 NO.3*

主要寸泡 (mm)	去	許容範囲	根拠
外径	89. 1	±1%	JIS G 3456による材料公差
厚さ	7.6	-12.5 %	【プラス側公差】 製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準 【マイナス側公差】 JIS G 3456による材料公差

管 NO.3*- 管継手

主要寸泡 (mm)	Ė	許容範囲	根拠
外径	89. 1	±1.6 mm	JIS B 2312による材料公差
厚さ	7. 6	+規定しない -12.5 %	同上

管 NO.4*

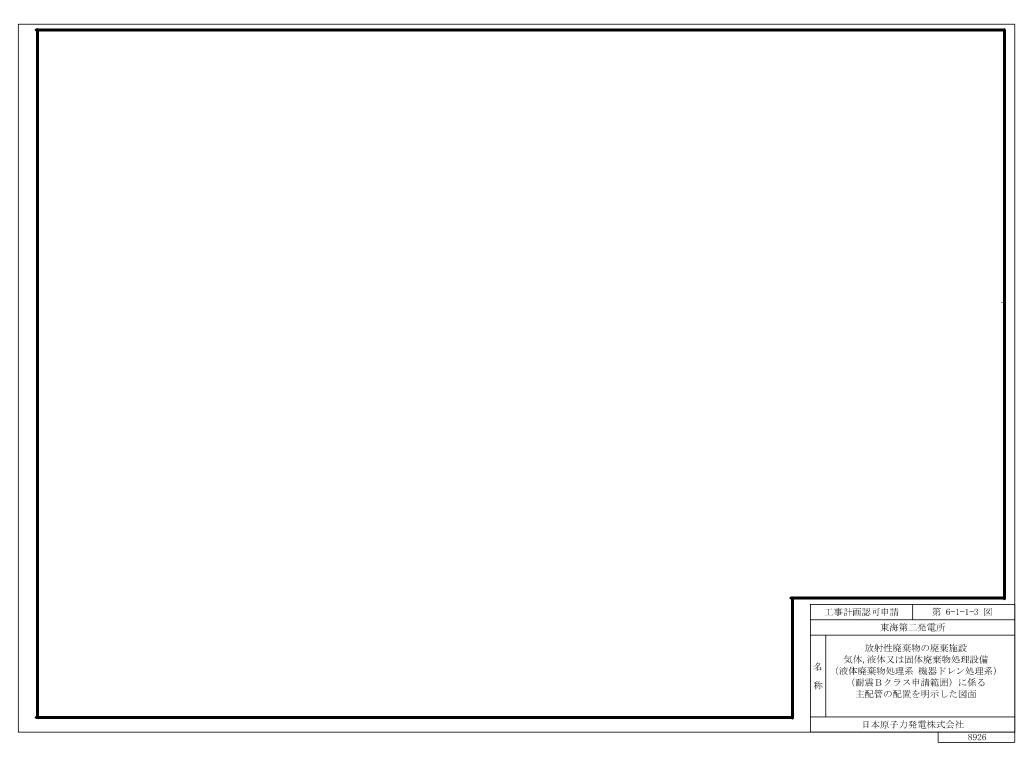
主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	89. 1	±1%	JIS G 3456による材料公差
厚さ	7.6	-12.5 %	【プラス側公差】製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準【マイナス側公差】JIS G 3456による材料公差

管 NO.4*- 管継手

主要寸沒 (mm)	±	許容範囲	根拠
外径	89. 1	±1.6 mm	JIS B 2312による材料公差
厚さ	7. 6	+規定しない -12.5 %	同上

注 : 主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

注記 *: 管の強度計算書の管 NO. を示す。



NT9 結例公主主

第 6-1-1-7,8 図, 第 6-1-1-11 図~第 6-1-1-14 図 放射性廃棄物の廃棄施設 気体,液体又は固体廃 棄物処理設備(液体廃棄物処理系 機器ドレン処理系,床ドレン処理系)(耐震Bクラス申請範囲)に係 る主配管の配置を明示した図面 別紙

工事計画書記載の公称値の許容範囲

	·			
		•		
管 No. 2*				
2. 床ドレン処理差	系統			
管 No. 1*				

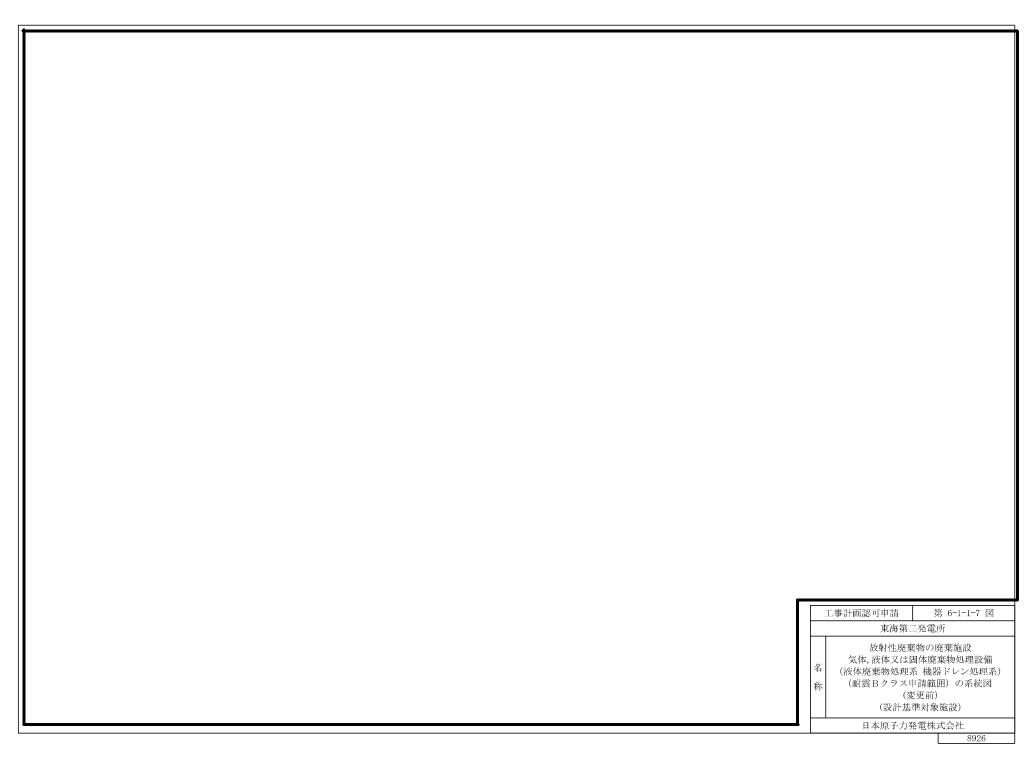
工事計画書記載の公称値の許容範囲 (続き)

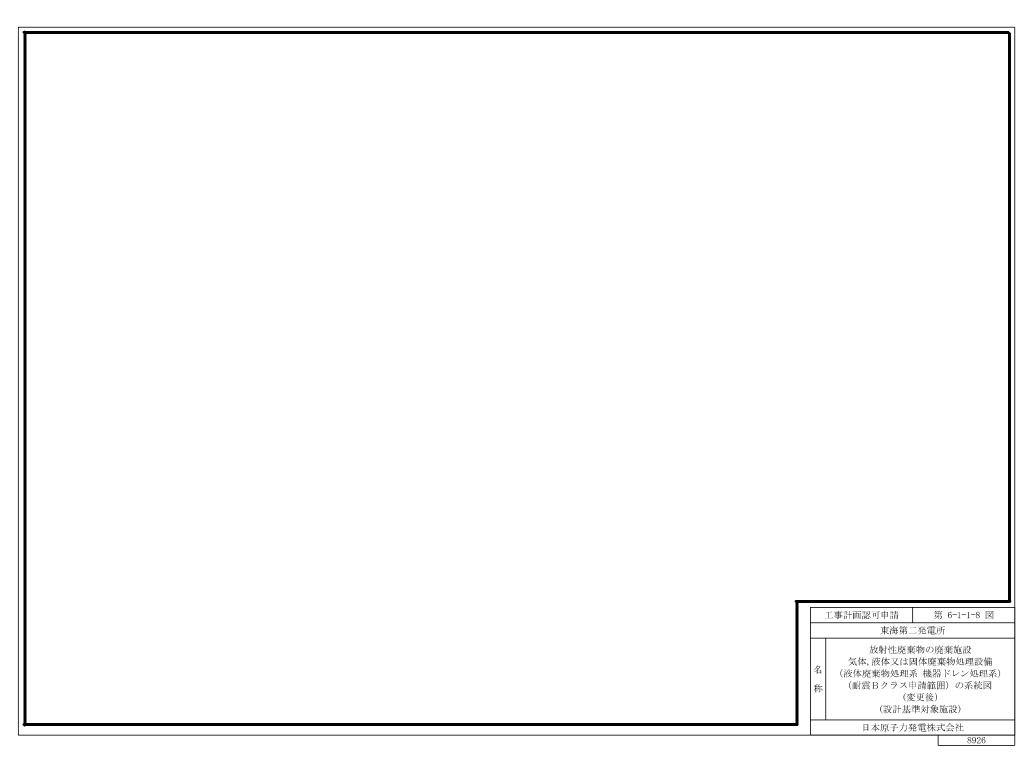
	管 No. 2*	
Ĭ		
İ		
l		
1	管 No. 3*	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

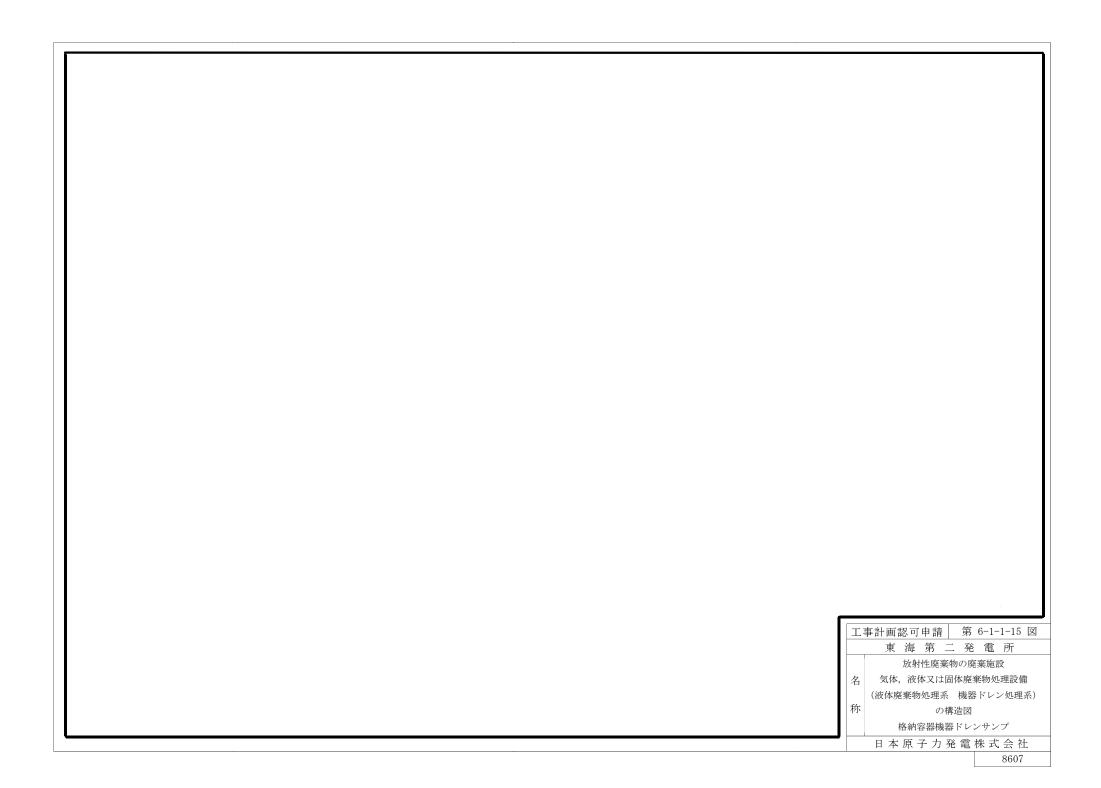
注 : 主要寸法は、工事計画書記載の公称値を示す。

注記 *: 管の強度計算書の管 No. を示す。

工事計画認可申請 第 6-1-1-6 図
東海第二発電所
放射性廃棄物の廃棄施設
名 気体,液体又は固体廃棄物処理設備 (液体廃棄物処理系
(設計基準対象施設)
日本原子力発電株式会社
8914







第 6-1-1-15 図 放射性廃棄物の廃棄施設 気体,液体又は固体廃棄物処理設備(液体廃棄物処理系機器ドレン処理系)の構造図 格納容器機器ドレンサンプ 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
弧の長さ(内側)	2142		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
弧の長さ(外側)	2344		同上
幅	237		同上
高さ	1410		同上
胴板厚さ	12.0	+1.6 mm	【プラス側公差】 JIS G 4304による材料公差 【マイナス側公差】
			JIS G 4304による材料公差及び製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準 【プラス側公差】
底板厚さ	12.0	+1.6 mm	JIS G 4304による材料公差 【マイナス側公差】 JIS G 4304による材料公差及び製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準
平板厚さ	12.0	+1.6 mm	【プラス側公差】 JIS G 4304による材料公差 【マイナス側公差】 JIS G 4304による材料公差及び製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準
管台外径 (廃液出口)	89. 1		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
管台厚さ (廃液出口)	5. 5	+0.6 mm	【プラス側公差】 JIS G 3459による材料公差 【マイナス側公差】 JIS G 3459による材料公差及び製造能力,製造実績を考慮したメーカ基準

注 : 主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。